

私らしい巢まいと暮らし

トリノス

to - reno - su



[Vol.28] 2016年 春・夏号



暮らしの豆知識 暮らしを灯す

巣づくりの現場から 第3回 -木-

暮らしを、つなぐ。

Anest one

トリノスとは…?

名古屋でリノベーションを手掛ける株式会社アネストーンが

年に2回、春と秋に発行している季刊誌です。

アネストーン (Anestone) の名前の由来でもある「nest」は

日本語で「鳥の巣」、同時に「心地良い空間」という意味も持っています。

また「トリノス」の「リノ」はリノベーションの「リノ」。

「トリノス」では、「リノベーション」で手に入れた「心地良い空間」とともに

nest= 巣まいと、暮らしの情報をご紹介していきたいと思ます。

是非お手にとって、じっくりとご覧下さい。



目次

[特集①] 暮らしの豆知識	
暮らしを灯す	02
[特集②] 巣づくりの現場から	
第3回 - 木 -	06
私らしい「巣まい」のかたち	
・ montagne(名古屋市北区マンションK様邸)	09
・ Machiya(名古屋市郊外マンションI様邸)	13
・ Cherish(名古屋市千種区マンションU様邸)	15
・ Fargtal(名古屋市千種区マンションB様邸)	17
・ Grâce(名古屋市郊外戸建T様邸)	19
・ skog(名古屋市瑞穂区戸建Y様邸)	20
リノベーションの始め方	21



暮らしの豆知識

暮らしを灯す

わたしたちの暮らしを照らす照明器具。空間を演出するのに光は欠かせないものです。それぞれの場所に見合った照明の選び方や飾り方など、生活が楽しくなる豆知識をご紹介します。

小さなものから
大きなものまで
色々なライト

スタンドライト

テーブルスタンドとフロアスタンドがあり雰囲気づくり
に一役買ってくれる、補助照明です。
インテリアの+αとして取り入れやすい照明です。

アームネックランプ

真鍮のイギリス製アンティークライト
デスクランプとしても、飾り棚の上で
小物たちを照らす間接照明としても◎



ブラケットライト

壁に取り付ける間接照明。形や
照らし方に様々な種類のもの
があり、インテリアとしての効果も
大きい照明です。

シザーランプ

フランス製のアンティークブラケットライト
間接的に照らすことで意図的に影を作り出します。
ひとつでも存在感がありお部屋のアクセントに。



施工事例:Vorspiel

部分照明

ダウンライト

天井に埋め込んで設置する小型の照明。
照明器具が視界に入らず室内空間をス
ッキリと上げることができます。補助
の照明として使用することが多いです。

ペンダントライト

天井からチェーンやコードで吊り下げる
照明です。メインとして部屋全体を照ら
す大型のもの、部分的に照らす小型の
ものがあります。シェードやシャンデリア
など形も様々です。

裸電球型

多灯照明で生活シーンを豊かに演出

全般照明+部分照明

日本の住宅では、「照明はひと部屋にひとつ」というのがまだまだ一般的ですが
間接照明を使い光を組み合わせると、お部屋を素敵に演出することができます。
複数の照明を、場所や場面に応じて点灯・消灯することで多彩な雰囲気づくりが
可能です。「明るいところ」と「暗いところ」の対比でグラデーションをつけて「影」の
部分を生むことでお部屋に奥行きを持たせ、立体的な空間を演出します。
また部分的に点灯することで、省エネにもつながります。



ライティングレール

複数のライトを、レール上に取付けることができます。照明を好きな場所に
取り付けられるのはもちろん、専用のフックを使えば植物や小物などの装飾
も自由にできるので、手軽に吊るすインテリアを楽しめます。

シェード型



施工事例:巣まいと暮らしの店トリノス

04

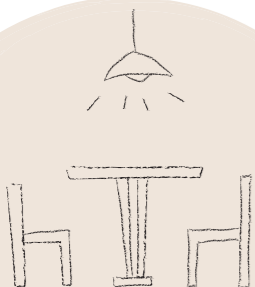
全般照明

トリノスからの照明提案

～照明選びのポイント～

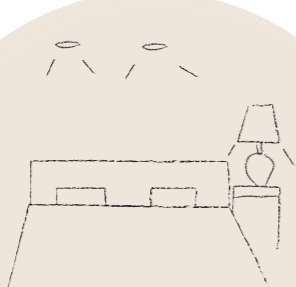
電球には様々な色や種類があり、取り換えるときに迷われる方も多いのでは…？
インテリアでの照明の取り扱いを基礎からおさらいしてみました*

①たかさ



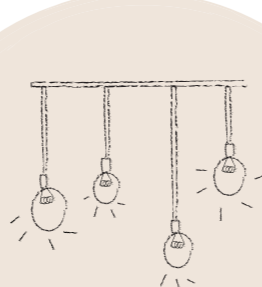
ダイニングテーブルの場合、ペンダントライトとの間隔は60~80cmが◎ 高すぎると光が全体に拡散しすぎてしまい、低すぎるとテーブル端まで照らせず影が出てしまいます。料理も美味しく見える高さです。

②いろ



リラックスしたい場所は炎を連想させる暖色系（電球色）、作業スペースには青白系（昼白色）が日光を連想させ頭がスッキリします。場所によって電球の色を使い分けると快適に過ごせます。

③あかるさ



白熱電球はWワット（消費電力）が明るさの目安になりますが、LEDではlmルーメン（光量）を明るさの目安にすると良いでしょう。1畳当り400~600lm（白熱電球30~40W相当）※が目安とされています。

※照明の種類や色、配置方法などによって見え方は変わります

ま・と・め

床から近い位置に灯りを置くとお部屋が広く見えたり、就寝前に間接照明だけで過ごすとき深い眠りに就けたり…
照明は視覚だけでなく感覚にも大きく関わり、私たちの生活に寄り添っています。
照明と上手に付き合い、素敵な空間づくりをしてみましょう♪

店舗トリノスでも取扱っています。相談や質問も気軽にして下さいね。

注目のLED電球

寿命の長さと電気代の安さで徐々に周知されつつあるLED電球。最近ではフィラメントを再現したデザイン性を備えたものも。普通の電球に比べ少々お値段の張るLEDですが、これならインテリアとしても活躍してくれそう。

築づくりの現場から



フローリングや造作家具などあらゆる場所に使用される自然素材の代表“木”。アネストワンでは、本物の良さを感じていただける無垢材の使用をおすすめしています。今回は特徴からメンテナンスの仕方など、木そのものの魅力をお伝えします。

1 特徴



一本の木から取れるつなぎ目のない材木を「無垢材」と呼びます。無垢は混ざり気のないという意味です。木そのものなので本来の質感や風合いを楽しめ、おうちをぬくもりのある安全で快適な環境に仕上げます。風土や環境によっては反りや割れが起こることがありますが、これは加工された後も生きているという証です。美しい木目の色味や質感が、時間が経つにつれて深みを増してゆき、ゆっくりと生活に馴染んでゆく姿は手間がかかるものなづけます。傷や汚れも味になり、経年変化を楽しめる、そんな本物の家づくりに「無垢材」は欠かせない存在です。

——木は大きく“広葉樹”と“針葉樹”の二種類に分けられます。——

広葉樹

硬く丈夫で、傷がつきにくいのが特徴です。木が太く曲がって生えるので切り出した木目に変化に富み、表情が豊かです。アネストワンでは広葉樹の中でも特にナラ材を、床材だけでなく家具や建具にも多く採用しています。重厚で美しくスッキリしているのにどこかあたたかみを感じる木目をしていて、テイストを選ばないのでオススメな樹種の一つです。



ナラ

針葉樹

針葉樹はまっすぐ伸びる特徴があり、まだ電動工具がない昔の日本家屋では、軽く切り出しやすいという理由から柱や梁をはじめ素足で歩く廊下の床にも使われていました。広葉樹に比べ傷は付きやすいですが、柔らかくキメが細かい木目をしていて、肌触りも優しいです。



スギ

2 職人さんへインタビュー

Q1. 無垢の木の魅力はどんな所ですか？

無垢材は風土によって反ったり縮んだり、膨らんだりする。なのでフローリングにしても、いうことを聞かない時もあります。生きてますから。そこが良いとこであり難しいところで、その性質さえ理解していれば見た目や肌触りなど、これ以上の材料はないですよ。昔の家はすべて無垢材ですから。

Q2. 施工で大変だったことはありますか？

正直毎回です(笑)。でもアネストさんの現場は古材を利用してみたり、型にはまらない家づくりで、新しい挑戦が多くて面白いです。僕は仕事が好きで今までになかったことをするのは楽しいので、大変だとは思いませんね。職人は一生勉強だと思っています。

Q3. 昔と今で変わったことは？

昔は板の加工まですべて手作業でした。今は材料が先に加工されているものがほとんどですね。家づくりは昔に比べてとても楽に、強固で精密な工事ができるようになりましたが、丸太の梁や和室など昔は当たり前だったものがなくなりつつあるのは寂しさもあります。そういった基礎となる手仕事があるから、新しいものもできるんだと思います。



アネストワンでは10年前からお世話になっているベテラン大工の棟梁・本間さん。自然と周りに人が集まるような、気さくであたたかい方です。

今まで取材してきた方々同様、職人にとって道具は命だという本間さん。修業時代から手に馴染んだ同じものをつと大切に使っているのだそう。



3 お客様たちの声

雾田気も肌触りも良い。

「prompt」N様

そのまま寝転ぶことが増えた。

「mocha」U様

素足でいたくなる。

「RENTO」T様

子供達がよくゴロゴロ転がって遊んでいる。

「color」K様

帰ってくると木のいい匂いがする。

「color」K様

最初はこだわらなかったが無垢にして良かった。

「liens」K様

手入れは必要だけど、その分愛着が湧く。今後の変化が楽しみ。

「courbe」M様

素材感や色味がやっぱり違う。

「Hackney」N様

無垢材のオイルメンテナンス方法 ～家具編～



今回はアネストワンの重鎮無垢天板の打ち合わせテーブルをメンテナンスしてみました！

Start!

①まず表面についた汚れを固く絞った布巾で綺麗にふきとります。

②オイルをウエスに染み込ませまんべんなく薄く伸ばすように塗ります。



着なくなったTシャツを再利用しても◎



③塗った後1～2時間置き、表面に浮き上がってきた余分なオイルをタオルでふき取ります。(ムラなく塗れます)

完全に乾くまではなるべく上に物を置かないで



④完全に乾燥するまで待ちます。

カンタンオテガル♪

「フローリングだけじゃない木の出番」



←キッチンにも木を取り入れることであたたかい霧田気に。



←内窓の枠やドアなどの建具にも木を使用すると、木の素材感がぐっと際立ちます。



トリノスオリジナル家具“無垢材ヘリンボーンテーブル”

今回使用したのはこれ！



アンティーク家具にも使用できる木製家具用オイル&ワックス(店舗トリノスでも取り扱い中)

完成

私らしい「巢まい」のかたち

アネストワンで手掛けた、それぞれの「巢まい」をご紹介します



montagne

マンションリノベーション / 名古屋市北区 / K様邸

山登りが趣味というご夫婦。

マンションの最上階という物件の良さを活かし、リビングルームの天井を上げてキッチンや書斎、寝室までもが繋がって広々と見えるようにほぼスケルトンまで解体しました。別室でも一部の天井をあげて、自宅でもボルダリングのトレーニングが出来るようなクライミングウォールをつくり、登山に必要な物や靴が収納できる土間収納空間も用意しました。

ダークブラウンの無垢フローリングや漆喰壁、レンガを使用して遊び心とこだわりが沢山詰まった空間に仕上がりました。



カウンターで囲ったキッチンは、壁面の濃いグレーのアクセントカラーや、お酒とワイングラスを並べたアイアンの吊りラックがバーのような雰囲気。

窓際にはワークスペースとして本棚とカウンターを造作。ガラスのパーテーションで仕切ること、LDKとの視覚的なつながりと開放感がありながらも、集中して仕事や勉強ができる場所に。



K様ご家族の紹介

ご主人40代、奥様30代のK様ご夫婦。
独身時代には海外で生活をされていたり
共通の趣味は登山や旅行という
アクティブなお二人です。

家の中で登山のトレーニングをしたり
広いレーフバルコニーでのんびりと寛いだり
カウンターでお酒を飲みながらおしゃべりしたり。
開放感あふれる空間で、趣味を充実させながら
ご夫婦仲良く暮らしていらっしゃいます。



山登りの道具や靴のための土間収納スペース。ただ収納だけでなく、こんな風にかっこよくディスプレイするとテンションが上がりますね！

ここで同じ時間を過ごせるのがいいね。ホールドをどこに配置してとか、ルートを考えるのも面白い！



家の中にボルダリングルームも完備！ルートをチョークで描くことができるように、壁面は黒板塗装で仕上げています。

マンションだから
どうかなって思ったけど
十分すぎるくらいの
壁ができたね！

玄関から土間収納、ボルダリングルームへと続く動線。玄関に設けたガラスの窓からはクライミングウォールが眺められるようになっています。



最上階ならではの構造を生かした天井高、壁のブリックタイル、漆喰のR壁など、とても特徴的な見せ場がきれいにまとまったLDK。R壁の向こう側は寝室スペースとして、完全に区切った個室にせずにLDKとのつながりをもたせました。

物件データ
.....
所在地:名古屋市区
種別:マンション
専有面積:76.6㎡
建築年:1986年
施工期間:2.5ヶ月



ウッドデッキを敷いた広いルーフバルコニー。気候の良い日はここで朝食を食べたりコーヒーを飲んだり、新たな楽しみが増えたそう。



インターネットでひょっこり見つけたというこちらの物件。駅近で間取りが面白くリノベーションの自由度がありそうということ、担当者の良さも決め手となり購入してリノベーションすることになりました。

Before

Machiya

マンションリノベーション / 名古屋市郊外 / 1 様邸

名古屋市郊外の大型マンションの角部屋最上階。周辺に高い建物もなく、ロケーションが抜群です。

家事動線を考慮した間取りや、奥様のライフワークでもあるミシンができる広いカウンタースペース、天体観測のできるウッドデッキなど、こだわりを形にしました。

京都町屋の雰囲気が好きで 1 様ご家族。床には濃い目の無垢の杉板を選定し、窓際には杉の三層パネルでダイニングチェアの機能も兼ねた長いベンチを造作したり、壁面収納も素材とデザインを合わせて製作しました。施主選りすぐりの日本製のレトロな中古建具を使用して、より雰囲気のある空間に仕上がりました。



A: 広々としたLDK。杉の無垢フローリングと漆喰の壁に囲まれた気持ちの良い空間です。B: 洗面カウンターにはお気に入りのモザイクタイルをセレクト。C: 広いカウンターはミシンやちょっとした家事をするのに便利。子どもたちが大きくなったら勉強机としても活躍しそう。



D: リビングへの入り口には、古道具屋を巡って探したというガラス戸をセレクト。レトロで懐かしい雰囲気を醸し出しています。窓際にはダイニングチェアの機能も兼ねた長いベンチを造作。ベンチの下は収納としても活躍しています。E: 子供部屋との間仕切壁一面には壁面収納を造作。すっきりと収納しながら、お気に入りの雑貨を飾って楽しんでいます。

Before



希望の広さと角部屋だったことはもちろん、風通し、日当たり、周辺の環境、実家からの距離、窓から山が見えるロケーションも気に入ってこちらのマンションを購入することに。間取りや内装は一新して、1 様らしい家へとリノベーションされました。



1 様ご家族の紹介

「和」や日本らしいものがお好きで夫婦、おそろいの洋服が愛らしい双子の女の子の4人家族。ご夫婦それぞれが手ぬぐいのコレクションをされていたり、歴史のある心落ち着くような場所へ出掛けるのが共通の趣味だそう。

またミシンが得意で洋服作りをライフワークにされている奥様。新しく作ったカウンタースペースで、子供たちを眺めながらミシンを走らせていらっしゃいます。

物件データ

所在地: 名古屋市郊外
種別: マンション
専有面積: 98.63㎡
建築年: 1989年
施工期間: 2ヶ月



Before



通勤や生活の利便性とガーデニングが楽しめる専用庭付きの物件に絞って物件探しをされたU様。いくつか見つかった物件のうち、立地条件の良さが決め手となり、こちらの物件を購入してリノベーションすることになりました。

物件データ
所在地:名古屋市千種区
種別:マンション
専有面積:95.48㎡
建築年:1984年
施工期間:2ヶ月

Cherish

マンションリノベーション / 名古屋市千種区 / U様邸



U様ご家族の紹介

共に40代のご夫婦であるU様は、名古屋へ引越しされる前から応援しているチームがあるという、サッカーに夢中のお2人です。奥様は編み物やガーデニングも嗜まれ、お家の中には奥様がつくられた作品や、愛情がたっぷり注がれた瑞々しい植物たちがいっぱい。1日のうちに日差しの入り具合が変わっていくのを感じながら、ゆったりとした時間を過ごしていってほしいです。

ご夫婦二人暮らしのマンションリノベーション。
リビング・ダイニング・寝室の窓が南側にある専用庭に面している間取りのため、どこにいても気持ちのいい光と緑溢れる庭の景色が感じられます。LDKの一角に奥様のライフスタイルの一部でもある編み物用に専用スペースを設けたりご主人のためのワークデスクを設けたりと、それぞれの場所をつくりました。また夫婦二人が共に熱をあげているサッカー観戦のために大型のシアタースクリーンで楽しめるようにするなど、お家での生活がより楽しくなりそうです。
お手持ちのアンティークの家具に合うように、意匠や素材にもこだわった大人のリノベーション空間に仕上がりました。

A:ブルージェーに塗装したリビングドアはオリジナルで造作。中に嵌めたガラスは、味わいのある輸入の型ガラスをセレクト。B:玄関には古材の飾り棚を設け、手づくりのニットや北欧で見つけてきたお気に入りの雑貨をディスプレイ。C:ダイニングは元々掃き出し窓だったところに内壁をつくり腰窓に変更。カウンターをつくり植物たちの特等席に。D:キッチンからパントリー、洗面所へとつながる間取りにしたことで、家事が捗るように。E:リビング隣のくつろぎスペースは、シアタースクリーンが間仕切り代わりとなって友人が泊まりに来た時にも活躍しているそう。



Fargtal

マンションリノベーション / 名古屋市千種区 / B様邸



物件データ

所在地:名古屋市千種区
種別:マンション
専有面積:78.66㎡
建築年:1986年
施工期間:2ヶ月



B様ご家族の紹介

マラソンや筋トレなど体づくりをライフワークにしている40代のご主人と、おしゃべりが上手でいつも明るい30代の奥様、しっかり者の5才の女の子と、ミニカーマニアの3才の男の子の4人家族です。

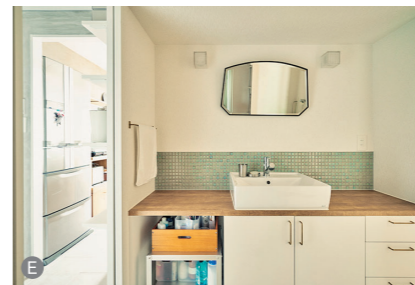
学ぶ、つくる、休む、...と、家をフルに使って、大人も子供も成長をしていきたいと思いがら、毎日を過ごしていちゃいます。

ご家族が増えて住み替えをされるということで、新たなご自宅のリノベーションをお手伝いさせていただきました。

これまでのご自宅での生活で特に不便に感じていた収納量の不足を解消すべく、どこからでもアクセスしやすい位置にウォークインクローゼットを設けました。玄関や土間収納ともアクセスでき、準備室としての機能も持たせております。

インテリアでは配色にこだわり、LDKの壁は漆喰とモルタルのツートーンにしました。また家具をはじめ、床や建具の木、オリジナルで作るキッチンのステンレス天板など、それぞれは素朴でありながらも、配色バランスのとれた空間に仕上げました。

A:オリジナルでつくったキッチン。ステンレスの天板と、ナラ材でつくった下台と食器棚、壁面のモルタルとアクセントで取り入れたブルーのタイルが絶妙なバランス。 B:当初はハンモック用にと取り付けけた天井の金具に、ロープを取り付けたところ子どもたちに大好評。 C:10年前なら「無駄、いらぬ」と思っていたという畳も、今回は取り入れて大正解とB様。畳ならではの感触や匂いがお昼寝にぴったりだとか。 D:玄関の広い土間はご主人のトレーニングスペースや、カウンターを設けたので書斎としても活躍。 E:洗面スペースはシンプルながらもタイルや収納の取っ手など細部にまでこだわりました。洗面からパントリー、キッチンへも回遊できる間取りで家事動線も抜群。



Before



10年前に購入した新築マンションが手狭になり、住み替えを決意されたB様。実家の近くで駅近、希望の低層マンションで築年数や広さ・予算も決め手となり、こちらのマンションを購入してリノベーションすることになりました。



A

物件データ

 所在地:名古屋市郊外
 種別:戸建
 延床面積:187.78㎡
 建築年:1995年
 施工期間:2ヶ月

T様ご家族の紹介

「コーヒーを淹れることが上手」と奥様からお墨付きをもらっているご主人と、お料理やピアノなど、暮らしを豊かに楽しむことがお好きな奥様、電車遊びが大好きな3歳の女の子と、今年産まれたばかりの男の子の4人で仲良く暮らしていらっしゃいます。地球に優しい暮らし方を大切にされていて、棕櫚(シュロ)ぼうきでお掃除したり、土鍋でご飯を炊いたり、手間をかけながら日本的な家事を楽しんでいらっしゃるそうです。



Grâce

戸建リノベーション / 名古屋市郊外 / T様邸

奥様のご祖母様のお家を引き継がれたT様ご家族。名古屋市郊外にある昔ながらの日本家屋。ご祖母様との思い出を大切にしつつ、季節に合わせた日本の伝統行事を子供に教えたり、お庭でお茶をしたり、心豊かに暮らしていきたいというお話からリノベーションされる事に。玄関や和室は既存を活かしつつ、LDKや水廻りは家事動線、またイメージにもこだわりながら一新することになりました。エコを意識しながら丁寧に暮らしていきたいとの事でペレットストーブや太陽光パネルも採用。自然素材をつかった居心地の良い空間で、芸術や音楽を楽しみながら優雅に時間を過ごせる家へと生まれ変わりました。

A・B:リビングにはペレットストーブを設置。ストーブを眺めながらソファに腰かけるのが至福のひとつだそう。 C・D:扉や腰パネルのデザイン、天板の素材や壁のタイルなどひとつひとつ吟味して選んだこだわりのオーダーキッチン。



B



C



D



A

B



C

A・D:ダイニングの壁には白いブリックタイルでアクセントを。リビングは天井を上げ梁を露出し開放的な空間に、壁から天井まで全て漆喰で仕上げています。 B:子供部屋への入り口ドアはガラスのデザインや色にもこだわったオリジナル。 C:子供部屋にはアクセントで花柄の壁紙をセレクトしました。

Y様ご家族の紹介

映画鑑賞が趣味というご主人と洋裁・料理が好きな奥様。そして元気いっぱいに歌や踊りを楽しむ3歳の女の子の3人家族。家で過ごすことが好きということで、リビングでのんびりとそれぞれの趣味の時間を過ごしていらっしゃいます。休日にはご主人と娘さんがコーヒー豆を一緒に挽いて淹れてくれるんだとか。



skog

戸建リノベーション / 名古屋市瑞穂区 / Y様邸

瑞穂区にあるご主人の実家を譲り受けて住まわれていたY様ご家族。部屋が細かく区切られているので、より暮らしやすい間取りにリノベーションしました。もともと1階にあったLDKを2階へ移動し、浴室や洗面、ウォークインクローゼットなどを1階にまとめ、無駄なく効率の良い動線になるようプランしました。またご家族様が月を見るのが好きだということから、ソファに座りながらゆっくりと見れるようにリビングに月見窓を設けました。

シンプルで温かい北欧の雰囲気漂う、優しいお家へ仕上がりました。

物件データ

 所在地:名古屋市瑞穂区
 種別:戸建
 延床面積:58.85㎡
 建築年:1984年
 施工期間:2.5ヶ月

D



リノベーションの始め方

アネストワンではリノベーションを考えている方に向けて、このような形でサポートしています。イベントなどの詳しい情報はホームページにて随時更新しておりますので、ぜひ一度ご覧下さい。

○リノベーション相談会で詳しく聞く



理想の住まいや暮らしについて一緒に整理しましょう。毎週土曜日に開催しておりますが、平日でも受付可能ですのでお気軽にご相談下さい。
[事前に日時をご予約の上お越し下さい]

○ちゅこリノ勉強会に参加する



中古物件購入+リノベーションをお考えの方を対象に勉強会を開催しています。リノベーションの基本的なことから物件探しのコツ、資金計画についてなど、スライドで分かりやすく解説いたします。

○「ちゅこリノ講座」でさらに詳しく学ぶ

アネストワンでは、リノベーションの過程をより詳しくお伝えするために、『ちゅこリノ講座』を開講しております。理想の暮らしを具体的にイメージしたり、実際にものづくりの現場へ足を運び体感して頂き、私たちと一緒に学びながら、自分たちらしい家づくりをしていきましょう。
[※詳しくは相談会にてご案内しております]

ちゅこリノ講座

- ・『夢ノート』ワークショップ
- ・施工中現場見学会
- ・OB宅訪問見学会
- ・工房見学会
- ・『夢ノート』完成お披露目パーティー



ご希望の方には…

ファイナンシャル プラン相談会

ファイナンシャルプランナーが暮らしに関わる様々な費用を算出しながら、自分たちが一体どの位の家を持つのかを分かりやすくアドバイスします。

リノベーションSTART!!

物件探しやローンの審査についてのサポートや、現地へ同行して物件の調査をいたします。実際に物件が決まったら、これからの暮らし方を伺いし、その内容を基にプランの提案をさせていただきます。

経年してこそ価値のあるもの。

味のあるものが好きだ。
空間にしても、家具にしても、靴、カバン、食器…
様々なものに対してその感覚はいつもあります。
経年とともにあめ色に変色した木であったり、
当時のレトロなタイル、錆びついた小さなドアノブ…。
そんな、時を経るほど、味わいや奥行きが出てくるようなモノたちに本当に魅力を感じます。

そういったモノの中に共通することは、「本物」だということ。
例えば家具に関していうと、
引っ越すたびに買い換えるようなものではなく
時を経て色褪せない、子供にも譲れるようなものにこそ
価値があると思います。

それは、アネストワンのリノベーション空間にもいえることです。

アネストワンの考えである、「心地よく・本物で・温かみのある空間」の提供はそんな考えのもと、生まれました。
奇抜さやスタイリッシュさではなく、流行にとらわれず
長く使い続けることで、より味わいが出てくるような
素朴であたたかな空間の提供。
本物の素材を使い、時を経ても色褪せない
時を経るほど奥行きを増していく空間デザインを提案しています。

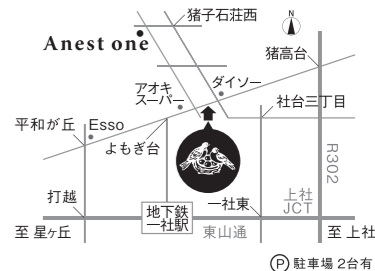
アネストワンのアンテナショップ『巢まいと暮らしの店トリノス to-reno-su』が
2015年6月1日に名東区よもぎ台にてオープンいたしました。
オーダーメイドからヴィンテージまで、家具・雑貨を中心に
素材感のある上質なものをセレクト。
ライフスタイルに合わせたインテリアコーディネートや
オリジナル家具・キッチンなどご提案しています。



巢まいと暮らしの店

トリノス to-reno-su

〒465-0091
名古屋市名東区よもぎ台3-117
第2キャピタルハイツ1F
営業時間 10:00-18:00
定休日(日・祝)
電話 052-778-7244
FAX 052-778-7245
mail@torenosu.com
http://www.torenosu.com/



公共交通機関ご利用の場合…
地下鉄東山線一社駅下車、北へ進み、よもぎ台の信号を右折。
一社駅から徒歩約15分。(アネストワンから徒歩約10分)

